

# 各部会の紹介

生活福祉部会  
部長 藤田 富美子



年に数回、新制度や福祉のいろいろな問題について、部会独自の研修を行います。

生活保護や年金、介護保険制度、還付金詐欺に対する注意喚起など、日々の生活でさまざまな問題がある中、その各分野において専門の講師をお招きし、私たちが必要な知識を身に付け、皆さんの手助けになれば良いと思っています。生活する中で困ったことや問題が起きた時は、一人で悩まず、不安を抱えないで、地域の民生委員・児童委員に気軽に相談してください。きっと良き解決の糸口が見つかることと思います。民生委員には法律で「守秘義務」が課せられていますので、どうか安心してください。

障がい・高齢者福祉部会  
部長 辻本 正昭



障がいのある人への支援は、一人ひとりに対し、接し方などを手探り状態で行っています。

当部会では、当事者の人と話をする機会を積極的に設けています。これからもより相互理解を深め、地域でも啓発していかなければと考えています。また、少子高齢化が進みます。一部地区では30%超にもなり、75歳以上の人と児童の数がほぼ同じとなっています。その上、ひとり暮らしの高齢者や、昼間に一人になる人も増えてきています。しかし、老人クラブの数やその委員の数は年々減少の傾向にあるので、今後とも、行政や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと連携し、私たちの活動が障がい・高齢者福祉問題の解決の糸口になればと考えています。

児童福祉部会  
部長 大井 由喜子



主な活動として、年に2カ所の小学校で地域のひとともに開催する「二世代会いっ子」があります。地域のつながりが希薄になったと言われている中、出会いがきっかけで視界が広がることを望み、顔見知りが増え、ありのままの姿で安心して日々過ごせるようにと、20年近くこの活動を続けています。

広報・調査部会  
部長 寺島 登志子



年2回、守口市民生委員児童委員協議会の機関紙「こぼと」を発行しています。地区活動や特集記事などを掲載、出来上がりを手にした時は本当に達成感があります。タイムリーな内容で、読んでもらえる紙面づくりを心掛けています。また、各委員の活動内容や活動日数などを取りまとめ、集計することも部会で担当しています。

「またやりたい！今度はいつするの？」子どもたちの声が、地域や部会員の心をつかみ「三世代会いっ子」を続けていくことの意義の深さを感じています。



## 三世代会交流事業 『三世代会いっ子』



守口市民協では、平成10年度より、三世代会交流事業「三世代会いっ子」を毎年定期的に実施しています。懐かしい昔あそびや工作づくりを通じて、児童・保護者・高齢者の三世代が一緒になって楽しみながら交流しています。

地区の民生委員・児童委員をはじめ、社会福祉協議会の福祉委員、各種団体などの協力により、年に2カ所の小学校で行っています。ストローで「ストロートンボ」、牛乳パックで「ビックリ箱」、新聞紙で「災害時にも活用できるスリッパ」など、身近な材料を使ったの工作づくりは、民生委員・児童委員がいろいろなアイデアを毎回出し合い、子どもたちに大人気です。遊びのコーナーの「輪投げ」も委員が手作りしたものです。お近くの地域で開催の時にはぜひ皆さんご参加ください。

## こんにちは 赤ちゃん訪問運動

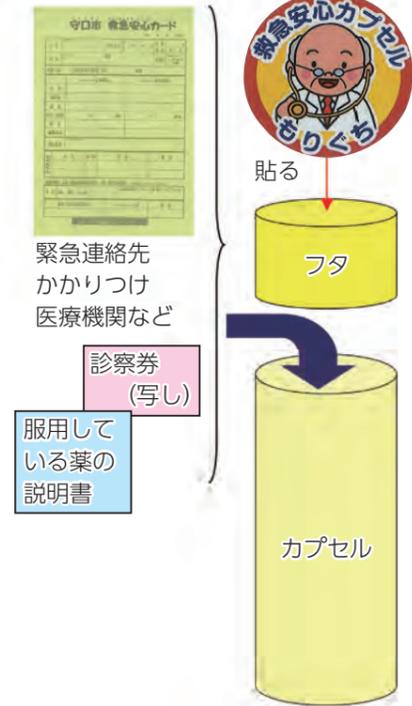


守口市の民生委員・児童委員の活動として「こんにちは赤ちゃん訪問運動」があります。地域の民生委員・児童委員が、赤ちゃんのいる家庭を訪問し、子育て支援の情報を提供する市事業の協力です。核家族が進み、子育て世代の人が、相談する相手もなく一人で悩みや不安を抱え込んでしまうことのないように、民生委員・児童委員が訪問することで地域との関わりが持て、少しでも子育ての支えにしたいとすることが目的です。

民生委員・児童委員、主任児童委員に気軽に相談していただければ、子育ての先輩としてアドバイスを行います。また、必要に応じて行政とともに課題解決にあたります。年間約20件の家庭を訪問しています。民生委員・児童委員がお伺いすると、皆さん笑顔で対応していただけており、委員も温かくうれしい気持ちになっています。

## もりもり救急安心カプセル事業

守口市民生委員児童委員協議会と守口市社会福祉協議会の協働事業として平成25年からスタートしました。この事業は病気や災害時に救急隊員や支援者が駆けつけた際、迅速かつ適切に救急医療活動などが受けられるよう「かかりつけ医療機関」や「緊急連絡先」などを記入した「守口市救急安心カード」などを配布するという事業です。



「カプセル」は、冷蔵庫のドアポケットに保管しておき、救急隊員などに分かるように、目印の「スリッパ」を冷蔵庫のドアや玄関の内側に貼っておきます。配布対象者は、75歳以上のひとり暮らしの人(白中一人になる人も含む)と障がいのある人です。民生委員・児童委員と地区福祉委員が連携し、住民の安全・安心を支えています。

## 主任児童委員



代表 森 滝子

平成6年に主任児童委員制度が制定され、守口市では当初3人が活動していました。

平成16年には、各地区に1人の主任児童委員が大阪府から委嘱を受け、現在市内で19人が活動しています。

当初は19人中18人が新任でしたので、手探りの状態からの出発でした。現在は、本協議会伝統の「手縫い台ふきん」を市内の保育所・幼稚園・小中学校にお届けすることや、平成23年からの「こんにちは赤ちゃん訪問運動」、保育ボランティアなど、活動が定着してきました。

これからも地区担当の民生委員・児童委員と協力して、子どもたちの見守りを基本に、他市との交流や研修を通して研鑽に励みたいと思っています。学校や子育て支援課、健康推進課など、関係機

関との連携を深め、市民の皆さんの身近な相談役となれるよう、努力していきます。子どもたちの幸せな生活に結びつくことを願って活動を続けていきたいと思っています。

主任児童委員：児童福祉問題を専門に担当する民生委員・児童委員です。

守口	杉原 清子	八島町12-14	八雲	菊地 樹世子	八雲北町3-11-15-413
土居	森 滝子	緑町1-22	下島	尾崎 衣津子	外島町6 西1-606
滝井	小丸 浩代	金下町1-10-12	庭窪	楠 由美子	佐太中町2-30-12
春日	古久保 かづみ	高瀬町2-3-6	佐太	倉谷 あき子	佐太中町6-35-4
三郷	村山 かおり	大枝北町6-1	梶	坂原 路子	梶町4-76-2
寺方	竹村 和子	西郷通3-1-25	金田	萩原 朋子	金田町2-20-11
橋波	瀬波 正代	橋波西之町3-6-2	東	藤川 幸子	東町1-9-21
南	栗原 恵美子	南寺方南通3-1-25	大久保	松浦 福代	藤田町5-22-10-209
錦	神谷 慶子	寺方錦通2-11-5	藤田	伊藤 和代	藤田町1-4-14
八雲東	西村 千代美	八雲東町2-37-9			